

豊中市社会福祉協議会の
CSWと生活困窮者自立支援とりくみ
地域共生社会へのあらたなステージへ

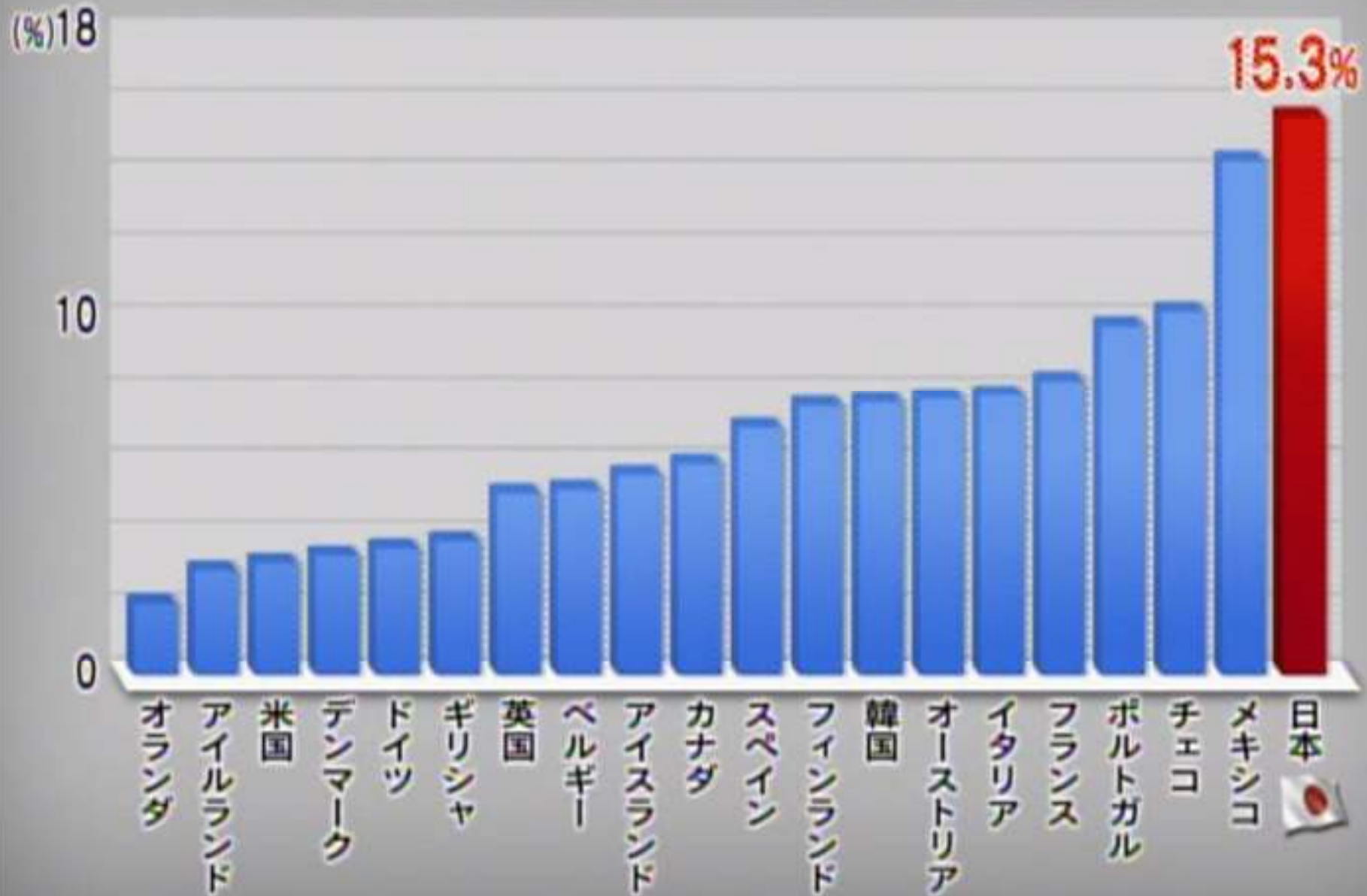


マスコットキャラクター“ビーのん”
よろしくね！！



社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 勝部麗子

社会的孤立の状況 (OECD 2005年)



孤独を感じている子ども(15歳)

(%)
30
20
10
0



ユニセフ 2007

A crowd of people walking in a dark, low-key setting, possibly a city street at night. The image is overlaid with several glowing Japanese text labels representing social issues. The labels are: 'ごみ屋敷' (Gomi-yashiki) in yellow at the top center; '孤立死' (Kokurishi) in green on the left; '薬物依存' (Yakubutsu Ijizon) in red on the right; '自殺' (Jisaku) in yellow at the bottom left; '虐待' (Gyaku-tai) in green at the bottom right; '不登校' (Fudengkyo) in purple at the bottom left; and 'ひきこもり' (Hikikomori) in blue at the bottom right.

ごみ屋敷

孤立死

薬物依存

自殺

虐待

不登校

ひきこもり

ごみ屋敷

孤立死

薬物依存

自殺

社会的孤立

虐待

不登校

ひきこもり

地域共生社会への新たなステージ

- ・一人も取りこぼさない ……SOSを出せない人に届く
- ・排除から包摂へ ……総論賛成各論賛成へ
- ・支えられた人が支える人に
- ・全ての人に居場所と役割を

……それを支えるための丸ごと

断らない福祉

多機関協働

……福祉が町おこし

……社会的孤立への対応



1,豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み 排除から包摂へ

- ①制度の狭間から地域づくりへ
- ②住民と協働するワーカー
- ③ライフセーフティネットの仕組み
- ④プロジェクト会議(出口づくり)

総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり

→ 個の課題から地域づくりを考える

ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050

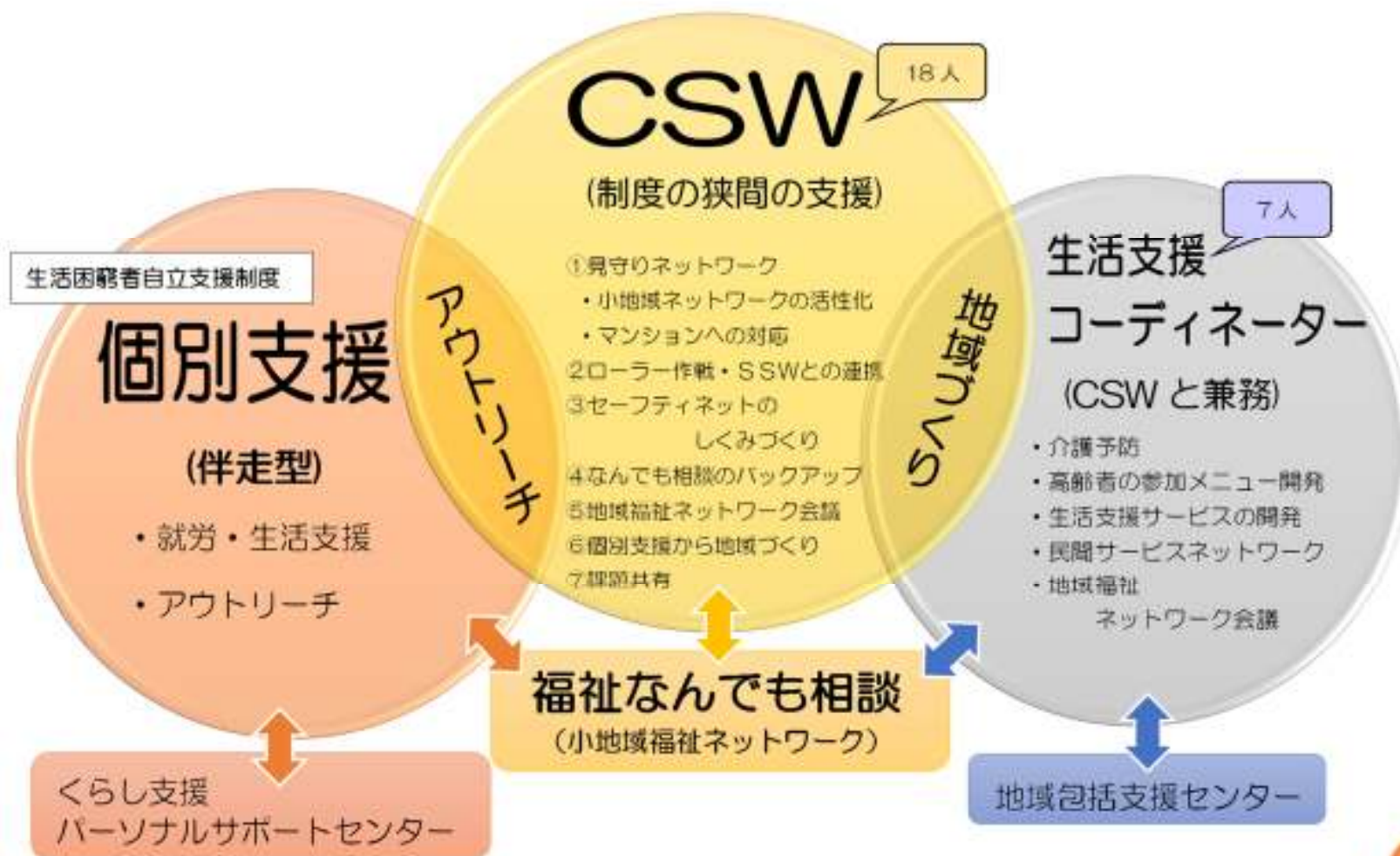
アルコール依存・刑余者などなど

社会的孤立へのアプローチ

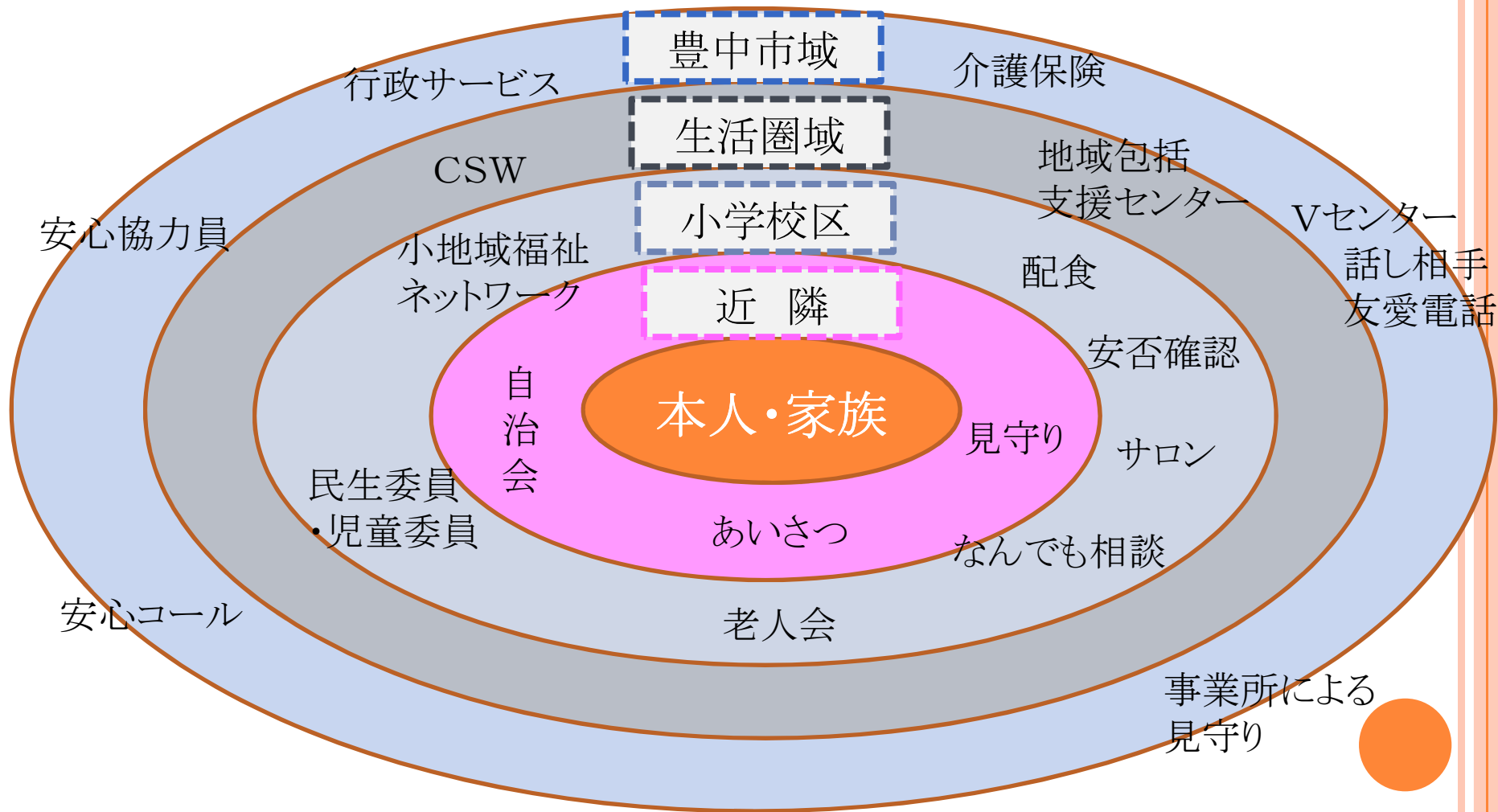


【地域福祉推進専門職の役割】

豊中社協(案)



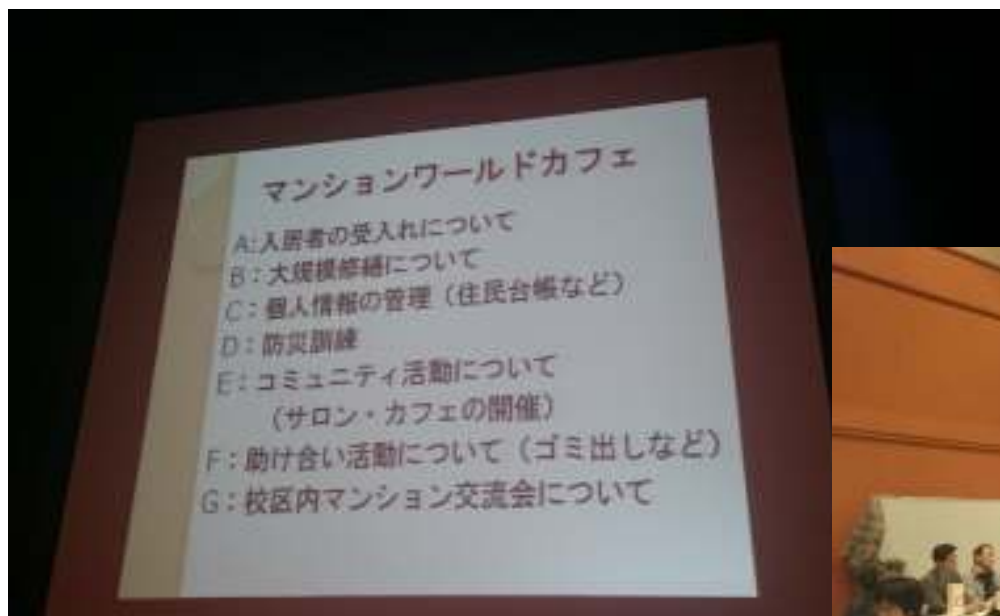
①豊中における重層的な見守りの方法



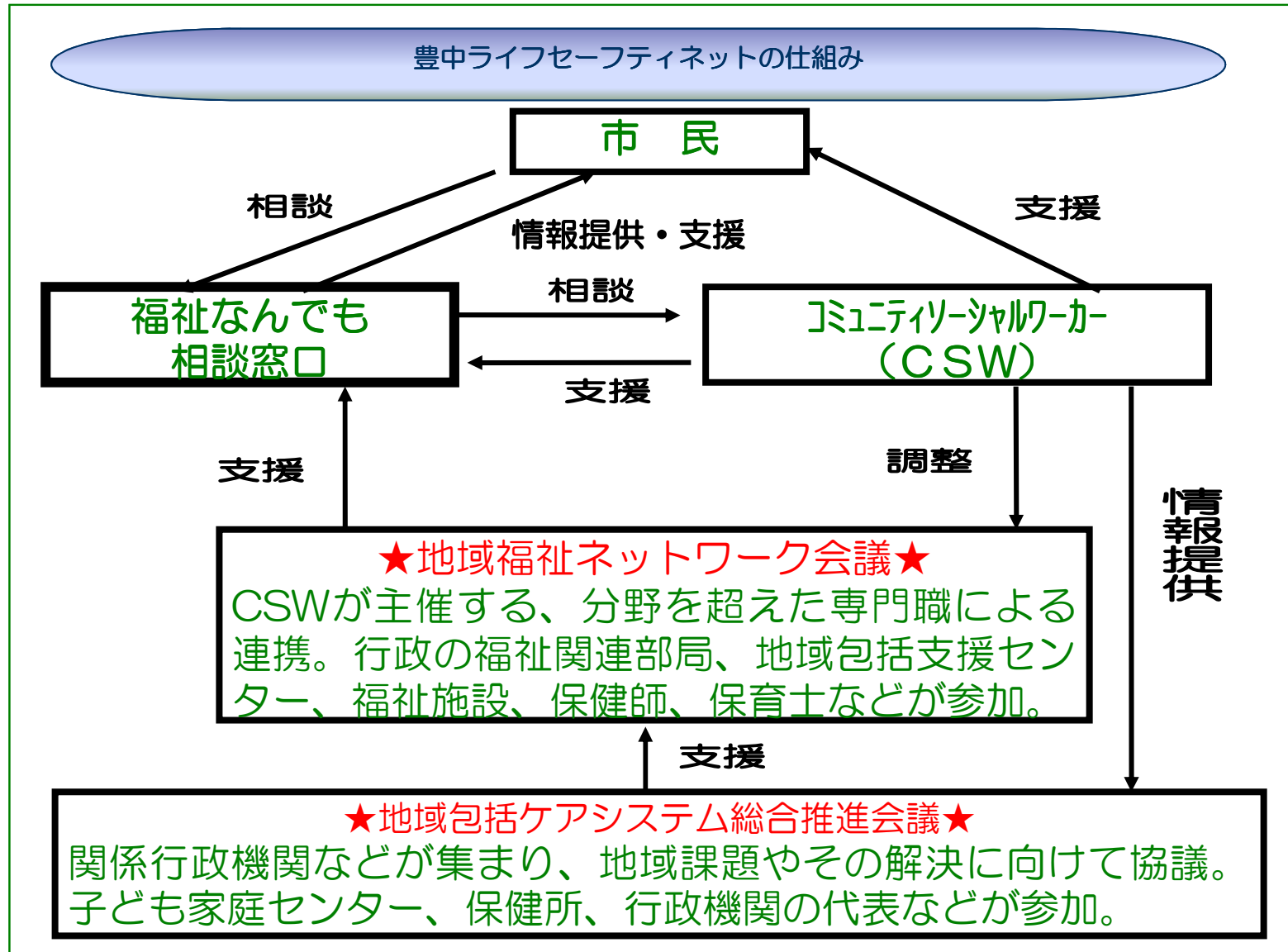
一人も取りこぼさない① ローラー作戦 年間3600軒 見守りマップ作り



一人も取りこぼさない② マンションサミット・マンション交流会



丸ごと・多機関協働 一人も取りこぼさない③



すべての人に居場所と役割を① 定年後

豊中あぐり



すべての人に居場所と役割を②

内職広場・・・仕事を通じての社会参加

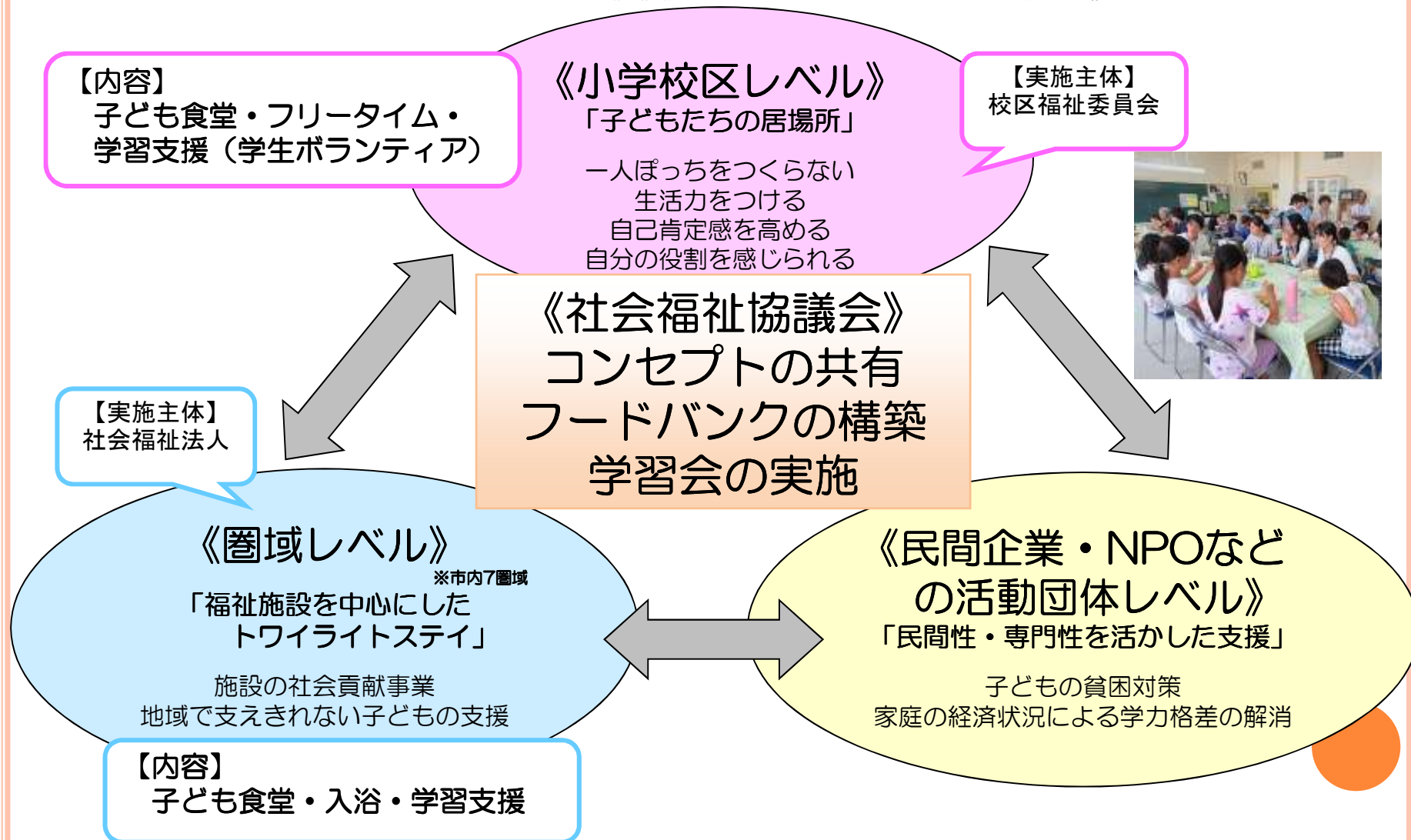


道端の駅・・・びーの×マルシェに高齢者の手作り品の
常設販売スペース

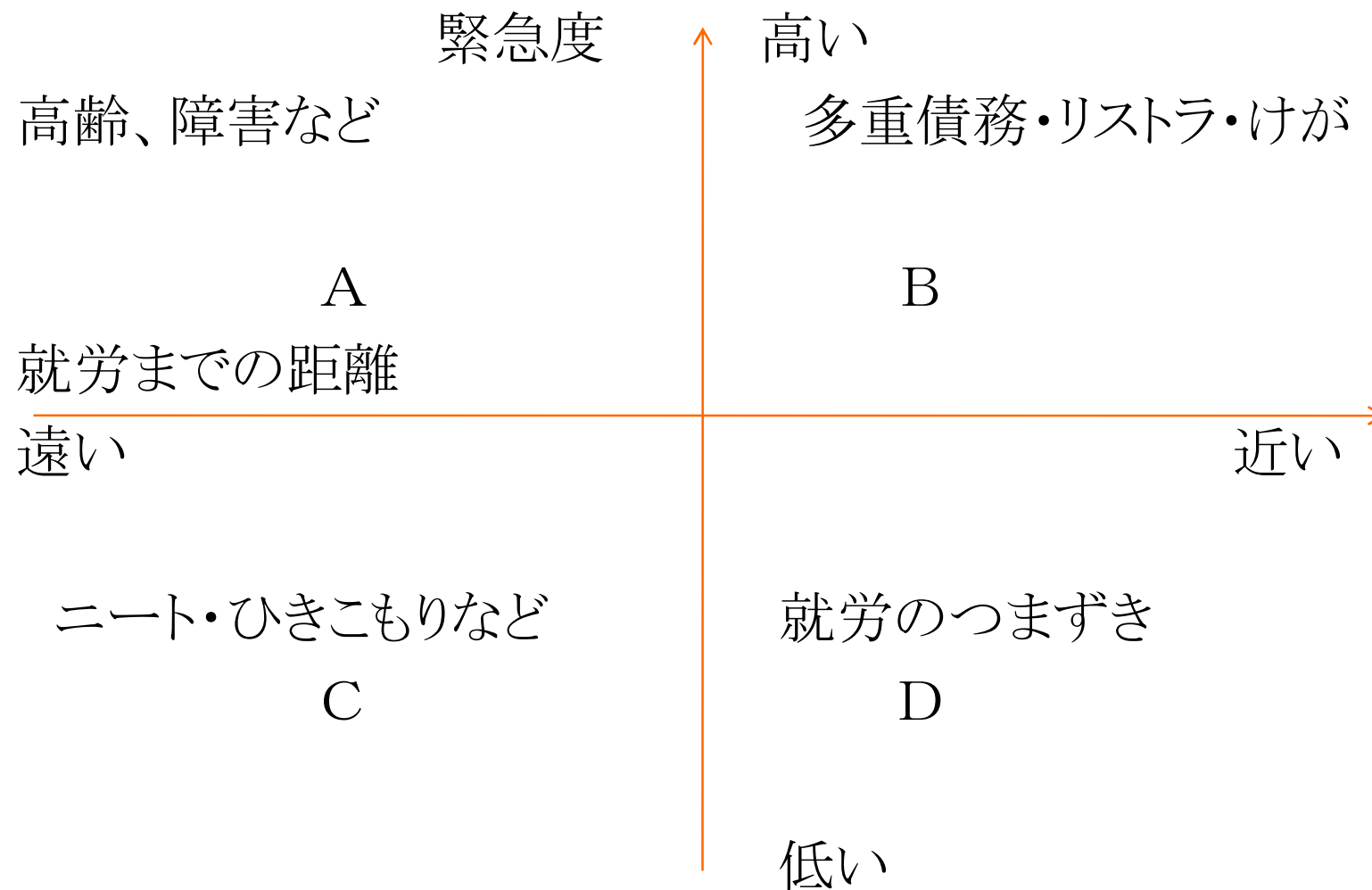


すべての人に居場所と役割を④

～子どもの居場所ネットワークの構築～



生活困窮者の対象



豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者支援緊急支援

- 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携、学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- 施設 社会貢献費用との連携
- 住替え支援
- 食材支援 フードドライブ



豊中の生活困窮者支援②

- CSWの相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)

→就労準備的な活動 *本人との目標設定(PSプラン)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

①居場所...週4回(生活面と自己肯定感、仲間意識)

②就労プログラム2時間一コマ 活動費支給

③就労体験...新聞配達、団地の草ひき、買物支援、パン屋さん
農業、林業、うどん屋さん等

→職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給

④びーの×マルシェでの定期的な就労体験

⑤就労訓練...パートで一定期間仕事に就く(この間就活)

⑥就労支援...就労支援センター・ハローワークとの連携

| | | | | | |
|---------------|-------|---------|------|------------------------|------|
| | | | 就労体験 | 就労準備 | 一般就労 |
| | 居場所参加 | 中間的就労 | | | |
| アウトリーチ | | | | | |
| 家庭訪問 家族会参加 | 生活支援 | 500円/2H | 新聞配達 | 就職活動 地域就労支援 センター | OB会 |

支えられていた人が支え手になる②

プログラム進捗状況（就労体験）

- 就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、



お買い上げの商品を家まで運ぶ

- 情報誌、夕刊配達



支えられていた人が支え手になる③

福祉便利屋(住民主体B1)の取組
200円/15分の支え合い





びーの×マルシェ

びーの×マルシェオープン！
「豊中びーのびーの」（引きこもり等の若者支援事業）と「豊中市小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン！



ソーシャルワーカーに求められる10のカギ

- ①入口と出口づくり 入口 早期発見ネットワーク 解決力が発見力
出口 一般就労だけが出口ではない
- ②本人の自己肯定感を高める 徹底した本人尊重
- ③翻訳機能 行政と本人 事業所と本人 地域と本人
- ④SOSを言える気づける地域づくり(知ることによって優しさが生まれる)
- ⑤開発力 ないものは作る セーフティネットを作る事業 例 緊急小口資金等
- ⑥できる・できないのジャッジのワーカーではいけない
本人の生活から支援を組立てる 支援から参加の視点
- ⑦家族全体の見立てが大切
包括から見たら虐待? 息子支援は?
保護か?就労支援?
- ⑧スモールステップを積み上げる 本人と目標を共有する
- ⑨諦めない心 人生をあきらめかけて人を支える私たちが先に諦めてはいけない
- ⑩援助関係づくり サービス拒否は支援者が拒否されてる
あなたを心配している。苦しい思いを受け止める
社会資源の活用は本人が主体化しないと始まらない

